

Campus Common Ping Pong Platz オープニングイベント

開催日時: 2025/5/18(Sun) 10:00～

会場: あずま百樹園キャンパスコモン (東京都墨田区文花1-19)

参加費: 無料

内容:

オープニングトーク & 卓球台お披露目: 10:00～

PPP Session: 10:30頃～

墨田区の公園「あずま百樹園キャンパスコモン」にて、プロジェクト《Campus Common Ping Pong Platz》がスタートします！

本取り組みは、UDCすみだとPING PONG PLATZプロジェクトのコラボレーションによって実現したもので、区立公園では初めての屋外卓球台の設置となります。社会実験としての側面も持ち、地域と大学、そして来園者との新たな交流の形を模索します。

設置された2台の卓球台は、イタリア人アーティスト ジャコモ・ザガネッリのデザインによるもので、日常の中に新たな風景をもたらします。

オープニングトーク、卓球台お披露目の後は「PPPセッション(自由参加型ピンポン会)」なども予定されています。オープニングイベント後は、卓球台をいつでも誰でも無料で利用できます。

■ アートプロジェクト「Ping Pong Platz」

「PING PONG PLATZ」は、東京都墨田区の公共空間に屋外卓球台を設置することで、人々が自然と集まり、交流し、にぎわいが生まれる場をつくるアートプロジェクトです。

ヨーロッパ、特にベルリンでは、公園などに屋外卓球台が点在し、単にスポーツを楽しむだけでなく、お茶をしたりミーティングをしたりと、人と人が自由に過ごす場として活用されています。PING PONG PLATZは、こうした屋外卓球台をめぐるカルチャーをすみだにローカライズし、世代や文化を超えた交流や学びのきっかけを生み出し、日常の中に新たな「楽しい」公共空間の可能性を広げていくことを目指しています。

このプロジェクトは、実験的アートとして2022年に始動し、現在は〈PPP Collective〉というオープンなグループによって運営されています。発起人はアーティストのジャコモ・ザガネッリ、灰谷歩、シルヴィア・ピアンティーニの3名で、地域コミュニティとともに柔軟に活動を展開しています。

これまでの活動としては、2023年に東京都墨田区内で、期間限定のポップアップイベントを多数開催。2024年10月には商店街の空き地に屋外卓球台を2ヶ月間設置し、2025年5月から、その空き地の所有者であるUR都市機構が新たにオープンした「AKICHI+」にて、《Kyojima Ping Pong Platz》が始まりました。

プロジェクトの発展形として、ジャコモ・ザガネッリの個人活動により、《Hibiya Ping Pong Platz》(『HIBIYA ART PARK 2025』／東京・日比谷)や、《Tsuyama Ping Pong Platz》(『森の芸術祭 晴れの国・岡山 2024』／岡山・津山)などの作品も展開されています。

■ アーティスト **Giacomo Zaganelli** ジャコモ・ザガネッリ

アーティスト、キュレーター、そして市民参加型プロジェクトの企画者として、幅広く活動している。人々を巻き込んだプロジェクトを数多く手がけており、「公共」や「社会」という概念を「空間」というテーマを通じて問い直し、挑戦している。

この20年間で彼は、ヨーロッパやアジアを舞台に、さまざまな団体、財団、文化施設、公園、地域コミュニティ、行政機関などと協力しながら、多くのプロジェクトを立ち上げ、推進してきた。

主なプロジェクトには、コレクティブ「:esibisco.」(イタリア、2005–2015)、フィレンツェにおける巨大インスタレーション《Non A Tutti Piace L’Erba》(イタリア、2008)、空き物件の調査と再活用戦略に関する研究《La mappa dell’abbandono》(イタリア、2010年より継続中)、台北当代美術館(MOCA Taipei)での個展《Superficially》(台湾、2017)、《Grand Turismo》(ウフィツィ美術館、フィレンツェ、イタリア、2018–2019)などがある。また、瀬戸内国際芸術祭(日本、2019)、タイランド・ビエンナーレ(2021–2022)、「森の芸術祭 晴れの国・岡山(日本、2024)」 「HIBIYA ART PARK 2025(日本 2025)」にも参加。

■ **UDCすみだ**

UDCすみだ(アーバンデザインセンターすみだ)は、墨田区が推進する「大学のあるまちづくり」を実現するため、2021年4月に設立された公・民・学連携のプラットフォームです。エリアマネジメントや空き家活用、産業振興など、多様なプロジェクトを展開中です。今回の《Campus Common Ping Pong Platz》が設置される区立公園「あずま百樹園キャンパスコモン」の管理運営を担っています。



2台の屋外卓球台は、アーティストのジャコモ・ザガネッリによる作品で、無償で貸与されたものです。



